

生成 A I 研究校実践事例

学校名	都立青鳥特別支援学校（職能開発科、高等部）		
学年	第 1 学年	教科等	情報
単元名	生成 A I について理解を深めよう		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ A I や生成 A I についてスライドを用い、基本を学ぶ。 ・ 生成 A I の体験を通して、生成 A I の特徴を理解する。 		

本時の目標 (1/2 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A I や生成 A I についての種類や特徴について理解する。 ・ 生成 A I へのログイン方法や操作方法を理解する。 	
	●主な学習活動・生徒の活用	□生成 A I の活用
本時の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ●「A I」と「生成 A I」について知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ A I や生成 A I についてのスライドを見たり、話を聞いたりして理解を深める。 ・ 生成 A I で画像を作成している動画を見る。 ●「生成 A I」を使ってみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本操作の説明を聞き、生成 A I にログインする。 ・ プロンプト入力の方法について理解を深める。 ・ 教員が示したプロンプトやその出力内容を見て、生成 A I についての理解を深める。 ・ 自分が入力した文章に対応した文章が出力されることを体験する。 ・ Chat GPT3.5 と 4 の違いについても体験し、理解を深める。 ●ハルシネーションについて知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に教員が準備したハルシネーションが起きるプロンプト例をいくつか提示し、ハルシネーションが起きる体験をする。 ・ ハルシネーションが起きる原因の話聞き、理解を深める。 ●振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 生成 A I の種類や特徴について、振り返る。 ・ 次回、授業内容の説明を受け、次回授業への見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> □教員が実際にプロンプト入力を行い、文章が生成される過程や生成内容を確認する。 □生徒も自分で考えたプロンプトを入力して体験を行う。 □Chat GPT3.5 と 4 によって出力内容が変わることを示したり、体験したりする。 □ハルシネーションが起きるプロンプトを入力し体験する。

	使用したプロンプト例（使用予定）	出力結果の概要
1	<ul style="list-style-type: none"> ・魚へんの漢字 100 個教えて ・手へんの漢字 100 個教えて ・あなたは高校生です。中学時代にお世話になった先生に以下の三つの内容を盛り込んで手紙を書いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ① 今、私が元気に頑張っていること ② 中学校でお世話になったことのお礼 ③ 落ち着いたら先生に会いに行くこと ・「〇〇物語」を要約してください。 ・伝説の〇〇の物語を作ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魚へん 100 個出力 ・手へん 100 個出力 ・指定した三つの内容を盛り込んだ中学時代の先生に向けての手紙が生成される。 ・簡単な物語であれば精度高く要約できる。 ・指定した通りの物語が生成できる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・青鳥特別支援学校の場所は？ ・サザエさんの家族は？ ・タケコプターとは？ ・田園都市線の終点は？ ・日本 2 番目に大きな湖は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の場所とは、違う場所が出力される。 ・家族関係、名前等に間違いがある。 ・ヘリコプターと間違える。 ・終点をも違える。 ・琵琶湖と出力される。(Chat GTP3.5) ・霞ヶ浦と出力される。(Chat GPT4)

本時において生成 A I を活用する上での配慮事項・ポイント	
1	A I 全般の理解ができていない状態なので、A I 全般の説明を丁寧に行った後、生成 A I の活用につなげる。
2	ログインやプロンプト入力に支援が必要な生徒もいる為、生徒の様子をみながら進めていく。